

(11)Publication number : 11-275134  
(43)Date of publication of application : 08.10.1999

(71)Applicant : MURATA MACH LTD  
(72)Inventor : KOTANI MASAKI

Figure 1 is a block diagram of the system architecture. It features a central vertical bus labeled '二物知部' (Two-object knowledge module). To the left of the bus, a 'プロセッサ' (Processor) is connected to a 'メモリ' (Memory) and a '制御部' (Control unit). To the right of the bus, a '出力部' (Output unit) is connected to a '入力部' (Input unit). The system is labeled '図1' (Figure 1) and includes a scale bar '1:10'.

## 2006/07/19

of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第3740828号

(P3740828)

(45) 発行日 平成18年2月1日 (2006.2.1)

(24) 登録日 平成17年11月18日 (2005.11.18)

(51) Int. Cl.

F I

H04L 12/58 (2006.01)

H04L 12/58 100B

G06F 13/00 (2006.01)

G06F 13/00 351G

H04N 1/00 (2006.01)

G06F 13/00 354Z

H04N 1/00 107A

請求項の数 3 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平10-70307

(22) 出願日 平成10年3月19日 (1998.3.19)

(65) 公開番号 特開平11-275134

(43) 公開日 平成11年10月8日 (1999.10.8)

審査請求日 平成16年4月19日 (2004.4.19)

(73) 特許権者 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(74) 代理人 100078868

弁理士 河野 登夫

(72) 発明者 小谷 正樹

京都府京都市伏見区竹田向代町136番地

村田機械株式会社 本社工場内

審査官 清水 稔

(56) 参考文献 特開平05-120335 (JP, A)

特開平09-200255 (JP, A)

特開平10-124516 (JP, A)

特開平09-200255 (JP, A)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電子メール機能付通信端末装置及び記録媒体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の言語で記載された所定の情報を、言語を識別する情報に対応付けて記憶手段に記憶しておき、

電子メールに含まれたメールアドレスを抽出するアドレス抽出手段と、

該アドレス抽出手段により抽出された前記メールアドレスに基づいて言語を決定する言語決定手段と、

該言語決定手段により決定された言語で記載された所定の情報を抽出する情報抽出手段と、

該情報抽出手段により抽出された所定の情報を前記メールアドレス宛に送信する送信手段と

を備えることを特徴とする電子メール機能付通信端末装置。

【請求項 2】

前記言語決定手段は、前記メールアドレスから地域名を示す情報を抽出し、抽出結果から言語を決定すべくしてある請求項 1 記載の電子メール機能付通信端末装置。

【請求項 3】

コンピュータに、所定の言語で記載された所定の情報を、言語を識別する情報に対応付けて記憶手段に記憶させる手段と、

コンピュータに、電子メールに含まれたメールアドレスを抽出させる手段と、

コンピュータに、抽出させた前記メールアドレスに基づいて言語を決定させる手段と、

コンピュータに、決定された言語で記載された所定の情報を抽出させる手段と、  
コンピュータに、抽出させた所定の情報を前記メールアドレス宛に送信させる手段と  
を含むプログラムを記録してあることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒  
体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子メールの送受信機能を備えたファクシミリ装置及びコンピュータのような装置が読み取り可能な記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、ローカルなコンピュータ通信網を通信回線で接続してさらにネットワーク化したインターネット等を介して電子メールを配信するコンピュータ通信網（インターネット等）が普及しつつある。コンピュータ通信網は、誤り訂正機能に優れており、またユーザは最寄りのプロバイダ（コンピュータ通信網への接続業者）までの通信費用（回線使用料及びプロバイダへの接続費用）を負担するだけで日本国内のみならず全世界のコンピュータと通信することができる。

【0003】

ところで、従来のファクシミリ通信手順は、上述の如きコンピュータ通信網を利用するコンピュータ通信のそれとは異なるため、ファクシミリ装置からコンピュータ通信網へ直接通信することができない。しかし、ファクシミリ通信で通常送受信されるファクシミリメッセージ（原稿）等のイメージデータであっても、電子メール形式に変換することにより、コンピュータ通信網を介して送受信することができる。

【0004】

このような事情から、原稿を電子メールとしてインターネット通信で送受信することが可能であり、そのような用途に使用される電子メール機能付通信端末装置、特にファクシミリ装置が開発されている。

【0005】

電子メール通信機能を備えたファクシミリ装置が電子メールを受信する際は、ネットワークにログインし、送信された電子メールを保管するメールサーバにメールアドレス別に割り当てられているメールボックスをチェックして、受信が可能な原稿の如き電子メールがあればダウンロードする。

【0006】

受信者は、電子メールをダウンロードした後でこの電子メールの送信者に対して、電子メールが到着したことを示す受領確認を電子メールとして返信することが一般に行われている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、受領確認は受信者の用いている例えば日本語等の言語で返信されるため、この受領確認を受信する者がこの言語が用いられている国以外、即ち外国に住んでいるような場合には、受領確認の内容を理解することができないという問題があった。

【0008】

本発明は斯かる事情に鑑みてなされたものであり、メールアドレスに含まれる国名を示す情報に応じた言語で受領確認を返信することにより、受領確認を受領する者がこの受領確認の内容を理解することができる電子メール機能付通信端末装置及びコンピュータのような装置が読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

第1発明に係る電子メール機能付通信端末装置は、所定の言語で記載された所定の情報を、言語を識別する情報に対応付けて記憶手段に記憶しておき、電子メールに含まれたメ

10

20

30

40

50

メールアドレスを抽出するアドレス抽出手段と、該アドレス抽出手段により抽出された前記メールアドレスに基づいて言語を決定する言語決定手段と、該言語決定手段により決定された言語で記載された所定の情報を抽出する情報抽出手段と、該情報抽出手段により抽出された所定の情報を前記メールアドレス宛に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

#### 【0010】

第2発明に係る電子メール機能付通信端末装置は、第1発明の電子メール機能付通信端末装置において、前記言語決定手段は、前記メールアドレスから地域名を示す情報を抽出し、抽出結果から言語を決定すべくなくしてあることを特徴とする。

#### 【0011】

第3発明に係る記録媒体は、コンピュータに、所定の言語で記載された所定の情報を、言語を識別する情報に対応付けて記憶手段に記憶させる手段と、コンピュータに、電子メールに含まれたメールアドレスを抽出させる手段と、コンピュータに、抽出させた前記メールアドレスに基づいて言語を決定させる手段と、コンピュータに、決定された言語で記載された所定の情報を抽出させる手段と、コンピュータに、抽出させた所定の情報を前記メールアドレス宛に送信させる手段とを含むプログラムを記録してあることを特徴とする。

#### 【0012】

本発明に係る電子メール機能付通信端末装置及びコンピュータのような装置が読み取り可能な記録媒体によれば、電子メールに含まれたメールアドレスから決定される言語で、具体的には、メールアドレスに含まれた国名等の地域名を示す情報から決定される言語で、電子メールを受領したことを送信者に知らせるための受領確認、電子メールのカバーページ（送信案内）等の所定情報を抽出し、抽出結果を前記メールアドレス宛に送信する構成としたので、前記情報の受信者はこの情報の内容を理解することが可能となる。

#### 【0013】

なお、前記メールアドレスに含まれた地域名を示す情報に基づく言語は、前記情報とこの情報に基づく言語とを対応させたデータテーブルを予め設けておき、前記情報に基づいて対応する言語を呼び出すことにより、容易に達成することができる。また、このようなデータテーブルの前記情報に対応する言語がない場合には、この情報が示す地域で用いられている母国語、又は一般的に英語である第1外国語で前記所定情報を生成することにより、前記メールアドレスのユーザがこの所定情報の内容を理解する確率が向上する。

#### 【0014】

また、上述の如き電子メールに含まれたメールアドレスは、この電子メールのヘッダ情報内に含まれる発信元、宛先等のメールアドレスに限定するものではなく、例えば、電子メールの本文内に含まれたメールアドレスであってもよい。

#### 【0015】

##### 【発明の実施の形態】

実施の形態1.

以下本発明をその実施の形態を示す図面に基づいて詳述する。図1は、実施の形態1に係る電子メール機能付通信端末装置としてのファクシミリ装置 FAX、FAX、FAXと、これらのファクシミリ装置 FAX、FAX、FAXが接続されているインターネット NTWとの構成例を示すブロック図である。

#### 【0016】

図1において、NTW はコンピュータ通信網（ネットワーク）の一部としてのインターネットであり、またインターネット NTWには、インターネット NTWのサーバとしての多数のプロバイダPR、PRが接続されているが、本実施の形態では、説明を簡略化すべく単に2つのプロバイダPR、PRが接続されている構成を示してある。

#### 【0017】

プロバイダPRには、クライアントとしてのファクシミリ装置 FAX、FAX、FAXが接続されており、上述と同様の理由により、3つのファクシミリ装置 FAX、FAX、FAXを示してあ

る。なお、各ファクシミリ装置 FAXとインターネット NTWとの接続形態は上述したものに  
限るものではなく、また、各ファクシミリ装置 FAXとプロバイダPRとの間にルータ、公衆  
電話回線の交換機（交換局）等が介在されている構成としてもよい。

**【0018】**

各ファクシミリ装置 FAXは、電子メールの送受信機能を有し、主制御部 1，読取部 2，記  
録部 3，表示部 4，操作部 5，ROM 6，RAM 7，画像メモリ 8，モデム 9，NCU 11，外部  
記憶読取部16等を備えてなる。

**【0019】**

主制御部 1は、MPU で構成されており、バス13を通じてファクシミリ装置 FAXのハードウ  
ェア各部を制御するだけでなく、ROM 6に記憶されたコンピュータプログラムに基づいて  
、ファクシミリメッセージ（原稿）のイメージデータをMH，MR，MMR 等の符号化方式によ  
って符号化又は復号化する符号化・復号化，画像（TIFF：Tagged Image File Format）変  
換，バイナリ・テキスト変換，メール編集，モデム切替え，ATコマンドによるRS232Cの制  
御等を含む通信手順等のコンピュータプログラムを実行する。

**【0020】**

読取部 2は、CCD 等を利用したスキャナで原稿を読み取り、白黒2値に変換したドットイ  
メージデータを出力する。記録部 3は、電子写真方式等のプリンタ装置を備え、他のファ  
クシミリ装置 FAXからファクシミリ通信により受信したデータ，インターネット通信によ  
り受信したデータ等をハードコピーとしてプリントアウト（記録）する。

**【0021】**

表示部 4は、液晶表示装置（LCD）又はCRT ディスプレイ等の表示装置であり、ファクシ  
ミリ装置 FAXの動作状態を表示したり、送信すべき原稿又は電子メール，受信した原稿又  
は電子メール等の表示を行なう。

**【0022】**

操作部 5は、ファクシミリ装置 FAXを操作するために必要な文字キー，テンキー，短縮ダ  
イヤルキー，ワンタッチダイヤルキー，各種のファンクションキー等のキーを備えている  
。なお、上述の表示部 4をタッチパネル方式とすることにより、この操作部 5の各種キー  
の一部又は全部を代用することも可能である。

**【0023】**

ROM 6は、ファクシミリ装置 FAXの動作に必要な種々のコンピュータプログラムを予め  
格納している。

**【0024】**

RAM 7は、SRAM等で構成され、コンピュータプログラムの実行時に発生する一時的なデ  
ータを記憶するほか、後述するアドレス・言語対応テーブル71，キー・言語対応テーブル  
72，言語・送信案内対応テーブル73，言語・受領確認対応テーブル74等の各種データテー  
ブルを予め記憶している。なお、これらのデータテーブルは、操作部 5から入力する構成  
とすることも可能である。また、RAM 7にフラッシュメモリを使用する構成も可能であり  
、この場合には、停電，ファクシミリ装置 FAXの移動等のために電源が遮断された場合にも  
記憶内容が失われることはない。

**【0025】**

画像メモリ 8は、DRAM等を用いて構成され、送信すべきイメージデータ又は受信したイメ  
ージデータを記憶する。

**【0026】**

モデム 9は、バス13に接続されており、ファクシミリ通信が可能なFAX モデムとしての機  
能を有するほか、インターネット通信が可能なデータ通信用のモデムとしても機能する。  
また、モデム 9は、同様にバス13に接続されたNCU（Network Control Unit）11と接続さ  
れている。NCU 11は、アナログ回線Lの開閉及び開放の動作を行なうハードウェアであり  
、必要に応じてモデム 9をアナログ回線Lと接続する。

**【0027】**

なお、DSU（Digital Service Unit：加入者線終端装置）を備えることにより、ベースバ

10

20

30

40

50

ンド伝送方式のデジタル回線に接続するようにしてもよい。

#### 【0028】

また、カードリーダの如き外部記憶読取部16は、マスクROM を使用したICカードの如き記録媒体Mの挿入スロットを備え、この挿入スロットに挿入された記録媒体Mからコンピュータプログラムを読み取り、RAM 7に格納する。

#### 【0029】

図2は、アドレス・言語対応テーブル71を示す模式図、図3は、キー・言語対応テーブル72を示す模式図、図4は、言語・送信案内対応テーブル73を示す模式図、図5は、言語・受領確認対応テーブル74を示す模式図である。

#### 【0030】

図2に示したアドレス・言語対応テーブル71は、国情報、言語情報、及び国名情報の各情報を有している。国情報は、メールアドレスの一部であり、“.jp”等のピリオド（ドットともいう）に続く2文字のアルファベットで記述されている。この2文字が、例えば上述の如く“jp”である場合には、“Japan（日本）”を示し、これに対応する国名を示す情報が上述の国名情報となっている。例えば、“.de”はドイツ、“.ca”はカナダ等のようになっている。また、言語情報は、国名情報に示された国の言語（母国語）を、“1：英語”、“2：日本語”、“3：ドイツ語”、“4：フランス語”、“5：イタリア語”、“6：スペイン語”等の数値で記述しており、補助的に言語名が数値に続けて記述されている。なお、特に記述された国情報に該当する以外のものは、その国情報を“その他”として、これに対応する言語情報を“1：英語”、国名情報を“不明”としてある。

#### 【0031】

図3に示したキー・言語対応テーブル72は、キー情報、メールアドレス情報、及び言語情報の各情報を有している。キー情報は、操作部5に設けられた各キーに対応し、ここでは文字キーに対応付けられた情報の一部を示してある。メールアドレス情報は、予め登録されたメールアドレスが記述されている。言語情報は、上述したアドレス・言語対応テーブル71の言語情報と同一であるので説明を省略する。なお、言語情報の初期設定は“未登録”としてあり、各キー情報又は各メールアドレスに対応付けられた言語情報がない状態を示す。

#### 【0032】

図4に示した言語・送信案内対応テーブル73は、言語情報、及び送信案内情報の各情報を有している。送信案内情報には、言語情報としての各数値に対応させた送信案内の文章がテキスト形式で記述され、前述した各言語情報に応じた言語で、“Thank you for your cooperation in this matter.”、“毎度お世話になっております。”等のように記述してある。

#### 【0033】

図5に示した言語・受領確認対応テーブル74は、言語情報、及び受領確認情報の各情報を有している。言語情報は、上述したアドレス・言語対応テーブル71の言語情報と同一であるので説明を省略するが、受領確認情報には、言語情報としての各数値に対応させた受領確認の文章がテキスト形式で記述され、各言語情報に応じた言語で、“I received your letter.”、“確かにメールを受け取りました。”等のように記述してある。

#### 【0034】

本実施の形態におけるファクシミリ装置 FAXは、以上の如きハードウェア構成を有しており、一般的なG3方式等のファクシミリ通信機能は勿論のこと、主としてTIFFファイル化されたイメージデータを電子メールとして送受信する機能を有している。換言すれば、本来はファクシミリ通信すべき原稿のイメージデータをMIME等でテキスト化し、TIFFファイル化し、インターネットを介して電子メールとして送受信することが可能である。

#### 【0035】

また、本実施の形態におけるファクシミリ装置 FAXは、受信した電子メールの送信者のメールアドレスを抽出し、抽出してメールアドレスに含まれた国情報に応じた言語で受領確認を返信するようになっているほか、電子メールを送信する際に、宛先のメールアドレス

10

20

30

40

50

に応じた言語で送信案内を電子メールに添付するようになっている。但し、このような通信に関する機能はコンピュータプログラムとしてROM 6に格納されているため、以下にそのような機能について説明する。

#### 【0036】

図6は、電子メールの送信に伴う主制御部1の処理内容を示すフローチャートである。まず、読取部2にセットされた原稿が読み取られるのに伴い、この原稿のイメージデータを画像メモリ8に格納する(ステップ1)。操作部5に設けられた文字キーがユーザにより押されるのに伴って、押された文字キーに基づいて、キー・言語対応テーブル72のキー情報に対応したメールアドレス情報及び言語情報が登録されているか否かを確認する(ステップ2)。文字キーに応じた情報が登録されていない場合には、アドレス・言語サーチ処理を実行して、メールアドレスに応じた言語情報を読み込み(ステップ3)、また文字キーに応じた情報が登録されている場合には、キー・言語対応テーブル72のキー情報に対応したメールアドレス及び言語情報を読み込む(ステップ4)。

10

#### 【0037】

ステップ3又は4の後で、読み込まれた言語情報に応じた送信案内情報を言語・送信案内対応テーブル73から読み込み(ステップ5)、ファクシミリ装置FAXがインターネットNTWへの接続契約をしているプロバイダPRへログインする(ステップ6)。ログインは、プロバイダPRが指定する電話番号にダイヤルし、プロバイダPRから予め供給されているユーザID、パスワード等を送出することによりプロバイダPRに接続するものであり、後述するログアウトと同様に一般的なダイヤルアップIP接続(又は切断)の処理が用いられる。

20

#### 【0038】

ログインの完了に伴って、ステップ5で読み込んだ送信案内情報を、予め操作部5から入力されたメールアドレスを宛先として送付する(ステップ7)。続いて、ステップ1で画像メモリ8に格納した原稿のイメージデータをMIME等でテキスト化し、TIFFファイル化する等した後で、電子メールとして同一の宛先へ送付する(ステップ8)。そして、送付が完了するのに伴ってログアウトし(ステップ9)、終了となる。

#### 【0039】

図7は、電子メールの受信に伴う主制御部1の処理内容を示すフローチャートである。まず、ファクシミリ装置FAXがインターネットNTWへの接続契約をしているプロバイダPRへログインし(ステップ1)、プロバイダPRにおいて自装置に割り当てられたメールボックスをチェックして、受信すべき電子メールをRAM 7にダウンロードする(ステップ2)。次いで、操作部5を用いてユーザが受領確認を返信するか否かを設定した「受領確認返信設定」を確認し(ステップ3)、設定がONとなっている場合には、ステップ2でダウンロードした電子メールの”From:”の後に記述された送信者のメールアドレスを抽出する(ステップ4)。

30

#### 【0040】

そして、アドレス・言語サーチ処理を実行して、メールアドレスに応じた言語情報を読み込み(ステップ5)、読み込んだ言語情報に対応する受領確認情報を言語・受領確認対応テーブル74から読み込む(ステップ6)。続いて、読み込んだ受領確認情報を、ステップ4で抽出したメールアドレスを宛先として送付する(ステップ7)。送付が完了するのに伴ってログアウトし(ステップ8)、終了となる。また、ステップ3で「受領確認返信設定」がOFFの場合にも終了となる。

40

#### 【0041】

図8は、アドレス・言語サーチ処理に伴う主制御部1の処理内容を示すフローチャートである。まず、メールアドレスの最後尾の文字から”.??”等のドットを含む3文字を抽出する(ステップ1)。なお、ここで”?”は任意の半角英数文字を示している。次に、アドレス・言語対応テーブル71を参照し、抽出された3文字に一致する国情報が登録されているか否かを確認し(ステップ2)、登録されている場合には、その一致する国情報に対応する言語情報を読み込み(ステップ3)、リターンする。また、登録されていない場合には、”その他”の国情報に対応する言語情報である”1”(英語)を読み込み(ステップ

50



4)、リターンする。

【0042】

なお、以上の実施の形態において、電子メール機能付通信端末装置としてのファクシミリ装置 FAXが、メールアドレスに基づいて受領確認情報及び送信案内情報を送出する構成としたが、このような構成に限るものではなく、例えば、電子メールの送受信経路の中途に介在するプロバイダPRが、ファクシミリ装置 FAXに代わって受領確認情報及び送信案内情報を送出する構成とすることも可能である。

【0043】

実施の形態 2.

次に本発明に係る電子メール機能付通信端末装置がパーソナルコンピュータのような構成である場合におけるその実施の形態を、以下に示す図面に基づいて詳述する。図 9 は、実施の形態 2 に係る電子メール機能付通信端末装置としてのパーソナルコンピュータ PC, PC, PC と、これらのパーソナルコンピュータ PC, PC が接続されているインターネット NTW との構成例を示すブロック図である。

【0044】

図 9 において、NTW はコンピュータ通信網（ネットワーク）の一部としてのインターネットであり、またインターネット NTW には、インターネット NTW への接続サーバとしての多数のプロバイダ PR, PR が接続されているが、本実施の形態では、説明を簡略化すべく単に 2 つのプロバイダ PR, PR が接続されている構成を示してある。

【0045】

プロバイダ PR には、クライアントとしてのパーソナルコンピュータ PC, PC, PC が接続されており、上述と同様の理由により、3 つのパーソナルコンピュータ PC, PC, PC を示してある。なお、各パーソナルコンピュータ PC とインターネット NTW との接続形態は上述したものに限るものではなく、また、各パーソナルコンピュータ PC とプロバイダ PR との間にルータ、公衆電話回線の交換機（交換局）等が介在されている構成としてもよい。

【0046】

各パーソナルコンピュータ PC は、電子メールの送受信機能を有し、主制御部 1、記録部 3、表示部 4、操作部 5、モデム 9、記憶部 10、外部記憶読取部 16 等を備えてなる。

【0047】

主制御部 1 は、MPU で構成されており、バス 13 を通じてパーソナルコンピュータ PC のハードウェア各部を制御するだけでなく、記憶部 10 に記憶されたコンピュータプログラムに基づいて、原稿のイメージデータを MH, MR, MMR 等の符号化方式によって符号化又は復号化する符号化・復号化、画像 (TIFF) 変換、バイナリ・テキスト変換、メール編集、モデム切替え、AT コマンドによる RS232C の制御等を含む通信手順等のコンピュータプログラムを実行する。

【0048】

記録部 3 は、電子写真方式等のプリンタ装置を備え、他のパーソナルコンピュータ PC からファクシミリ通信により受信したデータ、インターネット通信により受信したデータ等をハードコピーとしてプリントアウト（記録）する。

【0049】

表示部 4 は、液晶表示装置 (LCD) 又は CRT ディスプレイ等の表示装置であり、パーソナルコンピュータ PC の動作状態を表示したり、送信すべき原稿又は電子メール、受信した原稿又は電子メール等の表示を行なう。

【0050】

操作部 5 は、パーソナルコンピュータ PC を操作するために必要なキーボードを備えている。なお、上述の表示部 4 をタッチパネル方式とすることにより、この操作部 5 のキー操作の一部又は全部を代用することも可能である。

【0051】

記憶手段としての記憶部 10 は、読み書き可能な磁気ディスクから構成され、パーソナルコンピュータ PC の動作に必要な種々のコンピュータプログラムを予め記憶しているほか、前

10

20

30

40

50

述したアドレス・言語対応テーブル71, キー・言語対応テーブル72, 言語・送信案内対応テーブル73, 言語・受領確認対応テーブル74等の各種データテーブルを予め記憶している。

#### 【0052】

モデム9は、ファクシミリ通信が可能なFAX モデムとしての機能を有するほか、インターネット通信が可能なデータ通信用のモデムとしても機能するデータファックスモデムであり、バス13と接続され、アナログ回線Lとの閉結及び開放の動作を行なう。

#### 【0053】

なお、DSU (加入者線終端装置: Digital Service Unit) を備えることにより、ベースバンド伝送方式のデジタル回線に接続するようにしてもよい。

#### 【0054】

外部記憶読取部16は、フレキシブルディスク、CD-ROM等の如き記録媒体Mのディスクドライブであり、このディスクドライブに挿入された記録媒体Mからコンピュータプログラムを読み取り、記憶部10に格納する。

#### 【0055】

実施の形態2における電子メール機能付通信端末装置としてのパーソナルコンピュータPCは、以上の如きハードウェア構成であり、通常ファクシミリ通信のほかに、各種の方式で符号化された電子メールを送受信する機能を有している。従って、実施の形態1のファクシミリ装置 FAXと同様の手順にて原稿の送受信及び電子メールの送受信を行なうことができるため、実施の形態1と対応する部分には同一符号を付して説明を省略する。

#### 【0056】

##### 【発明の効果】

以上詳述した如く本発明に係る電子メール機能付通信端末装置及びこの装置が読み取り可能な記録媒体においては、電子メールに含まれたメールアドレスから決定される言語で、具体的には、メールアドレスに含まれた国名等の地域名を示す情報から決定される言語で、電子メールを受領したことを送信者に知らせるための受領確認、電子メールのカバーページ(送信案内)等の所定情報を抽出し、抽出結果を前記メールアドレス宛に送信することにより、前記情報の受信者はこの情報の内容を理解することが可能となる等、本発明は優れた効果を奏する。

##### 【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態1に係る電子メール機能付通信端末装置としてのファクシミリ装置と、これらのファクシミリ装置が接続されているインターネットとの構成例を示すブロック図である。

【図2】アドレス・言語対応テーブルを示す模式図である。

【図3】キー・言語対応テーブルを示す模式図である。

【図4】言語・送信案内対応テーブル73を示す模式図である。

【図5】言語・受領確認対応テーブルを示す模式図である。

【図6】電子メールの送信に伴う主制御部の処理内容を示すフローチャートである。

【図7】電子メールの受信に伴う主制御部の処理内容を示すフローチャートである。

【図8】アドレス・言語サーチ処理に伴う主制御部の処理内容を示すフローチャートである。

【図9】実施の形態2に係る電子メール機能付通信端末装置としてのパーソナルコンピュータと、パーソナルコンピュータが接続されているインターネットとの構成例を示すブロック図である。

##### 【符号の説明】

- 1 主制御部
- 6 ROM
- 7 RAM
- 9 モデム
- 10 記憶部

10

20

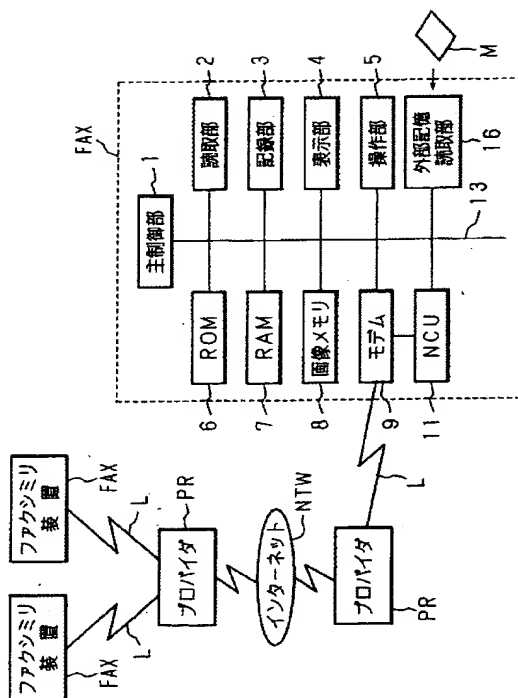
30

40

50

- 16 外部記憶読取部  
 FAX ファクシミリ装置  
 M 記録媒体  
 PC パーソナルコンピュータ

【図1】



【図2】

国情報	言語情報	国名情報
.jp	2:日本語	日本
.de	3:ドイツ語	ドイツ
.ca	1:英語	カナダ
.uk	1:英語	イギリス
.au	3:ドイツ語	オーストラリア
.fr	4:フランス語	フランス
.it	5:イタリア語	イタリア
.es	6:スペイン語	スペイン
その他	1:英語	不明

71

【図3】

キー情報	メールアドレス情報	言語情報
A	aaa.co.jp	2:日本語
B	bbb.co.de	3:ドイツ語
C	ccc.co.fr	4:フランス語
D	ddd.co.it	未登録

72

【図 4】

言語情報	送信案内情報
1	"Thank you for your cooperation in this matter."
2	"毎度お世話になっております。"
⋮	⋮

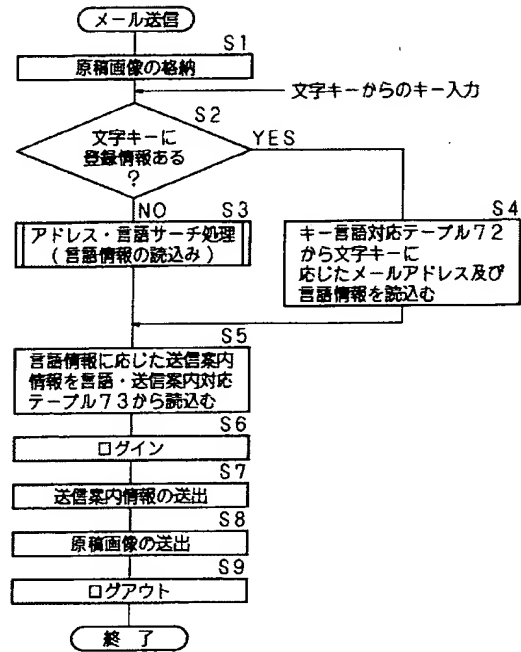
73

【図 5】

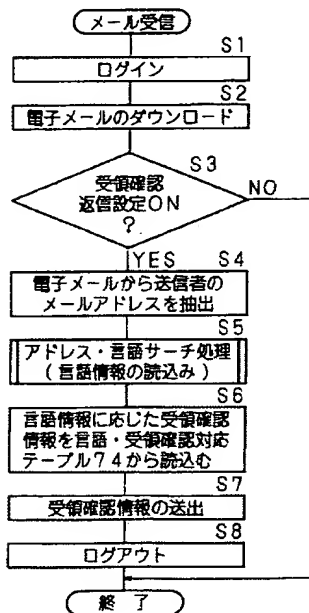
言語情報	受信確認情報
1	"I received your letter."
2	"確かにメールを受け取りました。"
⋮	⋮

74

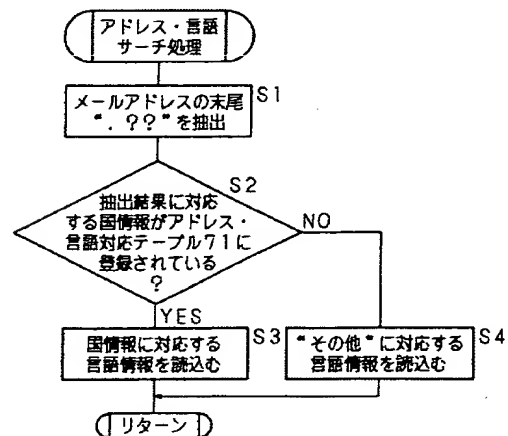
【図 6】



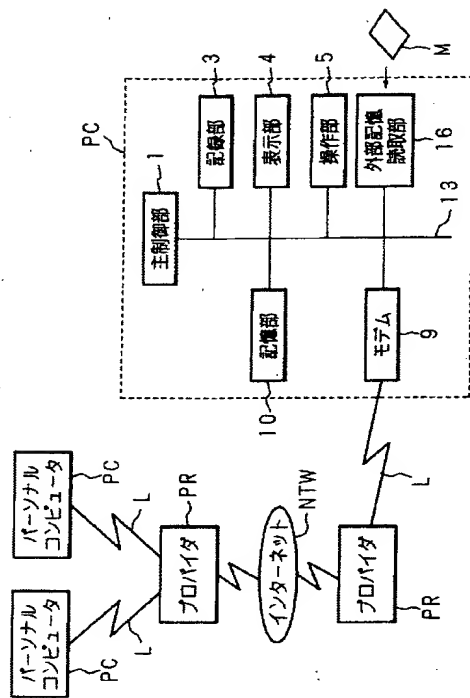
【図 7】



【図 8】



【図 9】



---

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int. Cl., DB名)

H04L 12/54

G06F 13/00 351

G06F 13/00 354

H04L 12/58

H04N 1/00 107